

地質情報展 2011 みと 特別講演会

日時：9月10日（土）14:30-15:30

場所：茨城大学水戸キャンパス講堂

参加費無料。どなたでも御参加できます。

日本のジオパーク

— 列島の大地に学ぶ —



日本ジオパーク委員会委員長
国際高等研究所所長 前京都大学総長

尾池和夫 氏 講演会

日本列島は、4枚のプレートが集まる変動帯にできた島弧です。

その列島を現す基本的な自然は、地震と噴火と、それらによる津波です。

このことを基本にして地球のことを見て、食べて、学んでいただくのがジオパークです。

変動帯のジオパークは世界の中で特別の位置を占めています。

2011年東北地方太平洋沖地震の直後、世界の人びとが映像を通じて情報を共有し、東日本を見つめました。

それらの映像から地球の姿を読み取るのに必要な知識は、

日本列島の大地の仕組みのことです。

今回の巨大地震は、1000年の時間、本州の半分という空間で観察しなければならない自然現象です。

21世紀の人びとにとって、資源、エネルギー、地球環境の問題など、考えるべき課題があります。

これらを考えるとき、地球のことを知らずに考えても無意味です。

東日本の巨大地震を実例として、

地球のことを学んでほしいと思っています。

講演者：尾池 和夫博士

日本ジオパーク委員会委員長

国際高等研究所所長 前京都大学総長 京都大学名誉教授

【経歴】

東京で生まれ高知で育った。専攻は地震学。

1963年京都大学理学部地球物理学科卒業後、京都大学助手。

1972年理学博士。

1973年京都大学防災研究所助教授。

1988年理学部教授。京都大学評議員、理学研究科長、副学長を歴任。

2003年12月京都大学総長、退任後2008年10月国際高等研究所フェロー、

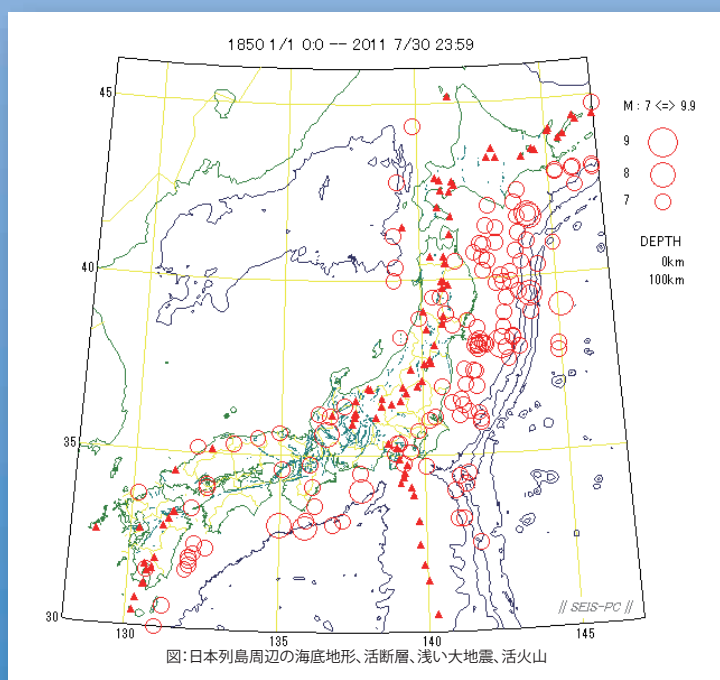
2009年4月から同所長に就任し現在に至る。

著書に中国の地震予知（NHKブックス）、

新版活動期に入った地震列島（岩波科学ライブラリー）、

俳景（三）洛中洛外—地球科学と俳句の風景（宝塚出版）、

変動帯の文化（京都大学学術出版会）などがある。



地質情報展 2011 みと

日本地質学会・産総研地質調査総合センター・茨城大学共催



茨城大学
Ibaraki University

水戸大会公開セッション

特別講演会に引き続いて行います。

参加費無料。どなたでも御参加できます。

自然のめぐみと ジオパーク

講演プログラム

- | | |
|---|----------|
| 15:30 自然災害とジオパーク -茨城県北ジオパーク構想を例として-
天 野一男 | T20-O-1 |
| 15:45 変動帯におけるジオパーク -室戸ジオパークの例-
殿谷 梓・柚 洞一央・柴田伊廣 | T20-O-2 |
| 16:00 山陰海岸ジオパークにおける直下型地震遺産の保存と活用
松原典 孝・先山 徹 | T20-O-3 |
| 16:15 なぜ花崗岩のことをみかげ石と呼ぶか -六甲山地がもたらした災害と恵み-
先山 徹 | T20-O-4 |
| 16:30 地すべりが育む山村の暮らし -糸魚川ジオパーク, 権現岳ジオサイトの例-
竹之内 耕・宮島 宏・茨木洋介 | T20-O-5 |
| 16:45 プレートがもたらした地下からの美しい便り
-糸魚川世界ジオパークの翡翠の価値と謎-
宮島 宏・竹之内 耕・茨木洋介 | T20-O-6 |
| 17:00 1888年の磐梯山噴火による災害と恩恵
竹谷陽二郎・佐藤 公 | T20-O-7 |
| 17:15 「銚子ジオパーク」構想の解説とこれまでの活動紹介
安藤生大 | T20-O-8 |
| 17:30 博物館の役割と貢献 (中国ジオパークに学ぶ)
太田泰弘・野井英 明 | T20-O-9 |
| 17:45 世界ジオパークネットワークと日本ジオパークネットワークの現状
渡辺真人 | T20-O-10 |
| 18:00 いわて三陸ジオパーク構想と東日本大震災
永広昌之・伊藤 仁・大石雅之 | T20-O-11 |
| 18:15 三陸ジオパーク設立にむけて (提案)
高木秀雄・渡辺真人 | T20-O-12 |

